

<新発表>

国広開発計画

国広電鉄(本社;額田郡幸田町)は現在大字大草で、国広開発計画を行っております。

本計画は、2019年から始まり、2038年をめどに完了を予定している計画です。
概要が決定しましたので、お伝えします。

1,駅前ラルゴレジデンスによる開発

駅前でラルゴレジデンス(国広電鉄の分譲マンション)による開発を行い、利便性の高い土地に幅広い年齢層が共存する街づくりを行います。2020年にラルゴレジデンス国広フォーレスト<新発表>を建設することを皮切りに、2020年度内にラルゴレジデンス国広ステーションフロント<新発表>、ラルゴレジデンス国広クレストタワー、2021年にラルゴレジデンス要門寺前カームヒルズトップ<新発表>を建設します。ラルゴレジデンスによる開発は2026年まで続く予定です。

2,国広駅と商業施設等の一体開発

現在、暫定的に建設されている国広駅を2029年までに、オフィス、共同住宅など、様々な機能を持った建物として一体開発します。様々な機能を持たせることで若い世代が集まる場所となり、国広電鉄線の利用促進にもつながります。尚、共同住宅は高級賃貸とし、将来の計画に柔軟に対応します。

3,新技術を応用した農業ビル

国広駅前の開発の一環として、農業ビルを建設します。これにより、災害時にも自給可能な街をつくるとともに、若者の農業離れを防ぎます。新技術を必要とするため、開発に時間がかかり、計画着手は2020年内、完了は2037~8年を予定しています。ニューヨークのロウラインで利用されている技術の応用も検討されています。

4,グレードパークモール(Glade Park Mall)

国広駅の北側に広がるゴルフ場跡にモールを建設し、町外からも集客を行い、様々な年

代、性別の方々が集まる場所にします。また、自然を感じられる場所として、地価向上にも努めます。着工時期は周辺の整備状況を見極めて今後決定いたします。開業は2029年ごろの予定です。

5,最新設備の導入<区画整理事業>

国広駅西側で行われている区画整理事業では自動運転の設備や、交通状況分析システムなどを導入し、よりよい街づくりに貢献します。また、動くペDESTリアンデッキなど、利便性向上も行います。2020年内に着工し、2030年までに終了予定です。

以上が概要です。

尚、これらは全て架空ですのでご注意ください。